

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271101145		
法人名	(株)日本ケアクオリティ		
事業所名	グループホームくすのき		
所在地	静岡県沼津市千本常盤町5-1		
自己評価作成日	令和3年10月25日	評価結果市町村受理日	令和4年1月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中でご利用者が自分らしく、安心して生活できるような支援を心掛けています。生活リハビリを念頭に置き、できる事できない事を見極め、支援しています。車通りが少ないところの立地なので、散歩や外気浴を行い気分転換を図りながら、身体機能の低下に努めています。ホーム前の桜が満開になった時には、お花見を開催するのが毎年の楽しみになっています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2271101145-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント		
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階		
訪問調査日	令和 3 年11月 29日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の前には桜並木があり季節になれば花見を楽しむことができる。コロナ前は散歩や庭で体操をするなど屋外で陽を浴びる機会が多くあり、利用者と職員の気分転換につながっていた。外部の人と交流する機会にも恵まれ、挨拶をしたり、出かけることが楽しみであった。小学生との交流や千本プラザの利用者、認知症カフェで近所の方とのふれあいがあり、利用者は生き生きとしていた。少し前まではコロナの影響で外出制限があったが、最近散歩や車中ドライブを行ったり、窓越し面会は継続している。職員、家族、本人も以前のように交流ができる日を楽しみにしている。現在、家事や料理、編み物など以前の趣味を継続してできる利用者があるので、関わりながら支援している。ベトナム人の実習生が2人勤務していて、言葉の壁はあるが真面目で勤勉な性格で他の職員にも良い影響を与え、周囲の職員も助け合いながら日々のケアを行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自 己	外 部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『私たちは家庭的な雰囲気の中で、笑顔を絶やさず、共に笑い皆で幸せを共有できる空間を創っていきます』の理念のもと支援しています。フロアに理念を掲げ、入居者と職員が家族のような関係で支援が出来るようにしています。	理念に基づいて、「笑顔で介護」の年間目標を設定している。今年も職員で話し合った結果、同じ目標を継続する事となった。年2回の評価シートに理念を書き出し、ホーム長は職員の様子を見て、理念を共有して実践につなげているか確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	散歩に行かれた時などご挨拶し顔なじみになる様、交流している。町内の行事にも参加し交流を図っている。	コロナ以前は小学生の子ども達と、手品や歌のボランティアとのふれあいや地域清掃や千本プラザに利用者と職員がでかけたり、認知症カフェ等で地域の人との交流があった。コロナ禍の現在は散歩で出会う人と挨拶を交わすなど、馴染みの関係を継続できるようにしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	包括支援センターと協力し、認知症カフェを開催し、地域の方々にホームのことや認知症への理解に努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回ご入居者とその家族、行政、民生委員の方々に近況報告を行い情報共有しています。ご意見、ご感想、助言、地域交流の情報をいただいたりしています。	コロナ以前は利用者も参加し会議を行っていたが、現在は2か月に1度書面開催をしている。まず事業所の状況を書面で報告し、意見書と返信封筒を開催前に送っている。その後、意見を加えた議事録を参加予定者と全家族に送付している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	沼津市GH連絡協議会に参加し、活動報告を行っている。	沼津市のグループホーム担当者主催のグループホーム連絡協議会の会長を昨年度から努め、現在は書面開催であるが、沼津市21箇所の事業所と交流がある。介護相談員も毎月30分位来所し、地域包括支援センターや社会福祉協議会とも協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員「身体拘束ゼロ宣言」を行っている。事故対策委員会を中心に介護方法を話し合い身体拘束についてのホーム内研修を行っている。	各事業所2名参加の法人の委員会が3か月に1度、年4回、ZOOM会議でおこなわれていて、今後も継続される。委員会の後に事業所で研修を行い、職員が持ち回りで講師を努め、基本の確認をしている。	

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についてホーム内研修を行っている。職員が入居者に関心を持って接し、痣等の変化に気づくよう努めている。発見後は事故報告書を作成し、原因や対策を話し合い再発防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在対象者はおらず、支援には至っていません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に重要事項説明書、契約書に添ってご説明ご理解ご了承を得ています。入居後もご不明な点やお問い合わせに対し、ご説明させていただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やケアプラン説明時にお聞きしています。毎月の近況報告でもご意見・ご感想がある方はお声をかけてくださるよう加筆しています。玄関にご意見箱を設置し、本社に意見が届くシステムになっています。	毎月、利用者個々の写真と文書担当職員が個別のコメントを書いたお便りを家族に送付している。家族が窓越し面会に来た時にもできるだけ意見や希望を伺うようにしている。家族からの意見などは申し送りノートで共有している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員より意見が出た時はすぐに対応している。また日ごろから話しやすい関係を築くよう努めている。毎月の全体会議やユニット会議の時に話し合っている。	ホーム長が日常的に職員の様子を見て声をかけをまめにしている。ホーム長はコミュニケーションを積極的にとり、話しやすい関係を築くようにしている。年に2回1対1の職員とホーム長の面談があり、ユニットリーダーを通してホーム長に意見が届くこともある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月希望休を2日取れるように勤務表を作成している。有休が取れやすいよう配慮し、疲労を溜めない工夫をしている。職員同士協力し合い、時間で上げられるようにしています。福利厚生にも力を入れています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修を年間で実施している。また、外部研修を受講した場合は、全体会議で他職員に伝達している。資格取得の為の助成金制度がある。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	沼津市GH連絡協議会に参加し、情報交換や交流を行っている。社内ではリモートを中心に交流を行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホーム見学の時や、初回面接時にお困りごとや不安なこと、ご要望をお聞きしています。入居後もお話を通して、ご要望を伺い、話し合いながら信頼関係の構築に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の相談をいただいた時から、不安なことやお困りごとなどに耳を傾け、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居してから、管理者・職員でカンファレンスを開催し、どのような支援が必要なのかを見極め、出来るだけ本人やご家族様の意向に沿うように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活を生活リハビリととらえ、無理なく出来ることはしていただき、できないことは支援させていただいている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日ごろの様子をお便りでお伝えしたり、面会時にもお話をさせていただいています。ご家族様とも情報共有をしながら、関係づくりに努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナの為、直接の面会は行っていないが、窓越しでの面会を行っている。	コロナ以前は子ども達やボランティアとのふれあいや地域清掃、認知症カフェなどで地域の人との交流があった。大家さんの身内が木の手入れのため、気軽に訪問してくれたり、民生委員も熱心に事業所と地域の橋渡しをしてくれていた。現在はコロナ禍のため自粛しているが、制限がある中で、窓越し面会を行っている。	

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	歌や体操などの集団レクリエーションや散歩、外気浴を行い、ご利用者同士の関係づくりに努めている。 良い関係が保たれるよう座席に配慮し、職員が間に入り会話の橋渡しを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談や支援を行っている。 転居先に必要な情報を提供している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	信頼関係を構築しながら話しやすい雰囲気を作りお話を伺っている。明確な意向を伺えない方は、表情、行動から意を汲み、ご家族の意向、希望と合わせて話し合いながら、ご本人本位に検討している。	支援日誌や申し送りノートを使って職員は利用者の状況を共有している。意思表示が困難な利用者に関しては職員会議で職員が気づいた意見を出したり、表情から意向を把握できるように努め、支援につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にご本人様、ご家族関係者に生活歴等を伺い、アセスメント表にまとめている。職員間で記録を読み情報を共有している。また、随時ご本人、ご家族から話を伺ってる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子、気づき、変化等タブレット、支援日誌に記録し、申し送り等で情報の共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回カンファレンスを開催し、個々の現状と課題を話し合い、プランの見直している。 モニタリングを3か月に1回、アセスメントを半年に一回行い、現状に即したものになるよう努めている。	状態変化や更新の利用者について、担当職員の意見を吸い上げ、ケアマネジャーがアセスメントを作成し、それを基に介護計画書を見直している。日々のケアの実践については「介護計画書の2表」を職員が日々意識してケアできるように、見やすいところに置き、モニタリングに活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿ってケアを実践した結果や、気づきをその都度記録に残し、申し送り等にて情報の共有している。この記録をケアプランの見直しに活かしている。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ケアのありかたについてカンファレンスで話し合い皆でニーズを発掘し、ニーズにこたえられるようなサービスを提供できるようにアイデア出し合っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市の介護相談員が月1回来訪し、入居者とお話している。消防署の協力を得て、防災訓練を行っている。市、町内、千本プラザの行事や催事に参加している。(コロナ禍の為、現在中止している)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回ホーム主治医の往診を受けている。他医院がかかりつけの場合は、基本ご家族様に付き添いをお願いしている。ご家族様の都合が合わない時は、職員が対応するときもある。往診、受信時には様子を伝え、主治医との橋渡しや、相談、アドバイスを受けている。	ほとんどの利用者が協力医の往診を受けているが、家族や本人の意向によって、他の医療機関かの往診、かかりつけ医に受診している方がいる。協力医は週に3~4日来所し、24時間対応である。看護師や訪問看護師の訪問により健康観察ができ、医療連携も取れている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪問看護師が健康管理を行っている。一週間の様子を伝え状態を把握していただき、アドバイスを受けている。かかりつけ医の看護師も週1回来訪し、主治医との橋渡しや相談アドバイスを受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は病院の主治医、看護師、ケースワーカーと情報交換し、スムーズに治療が進み早期に退院できるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期、重度化における指針について説明している。その時が来たら主治医を交えて、再度ホームでの対応を説明し書面にてご家族様の意向を確認している。	入居時に重度化、終末期の事業所の方針を説明している。状態変化があった場合は、主治医と職員、家族で医師の話を聞きながら施設の方針を再度話し家族の意向を確認して、同意書を得ている。年に1回、DVDや資料で研修を行い看取りについての理解を深められるよう職員で意見交換をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ご利用者の急変や事故発生に備えて応急手当や、初期対応の訓練を専門の方をお願い行なっている。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災委員を中心に火災、地震、津波を想定した訓練を年2回行っている。コロナ禍の為に町内の防災訓練は中止となり参加はしていない。火災・地震はご近所との協力体制が取れている。津波はライフジャケットを用意し、着用訓練を行っている。	1、2階で2名防災委員がいて訓練の計画や実施、備蓄の管理をしている。ライフジャケットは職員の分も含め全員分準備し、地域の防災訓練にも利用者と職員が参加し、緊急時には地域住民が協力してくれる体制を築いている。	日中の訓練だけではなく、夜間想定での訓練や季節想定も検討してください。連絡網訓練も夜間帯に実施する事によって新たな課題を見つけ、長期停電対策は法人と協議できるよう期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者個々に合った言葉や、声のトーンに気を付けている。排泄、入浴、更衣の時はプライバシーに配慮した支援を行うよう支援している。	人格を尊重しそれぞれの利用者に合わせた対応や言葉かけを心掛け、声の大きさは入浴やトイレ誘導時などは特に注意している。言葉かけなどに課題のある職員には職員同士で注意をしたり、ホーム長がその都度声掛けをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望などを言いやすい雰囲気づくりと関係づくりに努めている。自己決定しやすいように選択肢を絞り決定しやすいように工夫をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者から要望があった時は、状況、状態を考慮し希望に添えるように努めている。散歩、外気浴やレクリエーションなどの声掛けをするが、本人の意思を尊重し無理強いはいしない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に洗面、整容の声掛けや介助を行っています。定期的に移動理美容を利用しています。季節にあった衣類の選択の助言をしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家事手伝いが出来る利用者の方々には食事作りに参加していただいている。誕生日やイベント時には特別メニューを提供している。	利用者の希望を聞いて職員が献立を考え調理している。現在、法人の方針でお弁当を昼・夜、期間限定で利用している。お手伝いができる利用者が多く役割を分担して手伝ってもらったり、出前を取るなどで変化を持たせ、食事レクでケーキを作ったりなど食事を楽しむことができる支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態の工夫で完食できるよう提供している。食事量、水分量は記録し、摂取量が少ない方は医師に相談しエンシュア等を提供している。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝・昼食後にはお茶でうがいを行っています。また、残渣物が多い方には、歯間ブラシやブラッシングを行っています。起床時、夕食後は、ブラッシング、義歯洗浄を行い、必要に応じ介助をしています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来るだけトイレでの排泄できるよう心掛け、立位困難な方も2人対応にてご本人の様子をみながらトイレで排泄していただいている。	排泄表はタブレット入力で管理し、2人介助でもできるだけトイレでの排泄を心掛け介助をしている。自立の利用者には見守りや声かけを行っている。夜間は体調に配慮し個別に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事のバランス、水分量を把握し、利用者に合わせて予防を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴剤を使用したり、利用者様の要望や体調を把握しゆっくり、リラックス出来るよう配慮して行っている。入浴できない方は清拭、陰洗を行っている。	週に2~3回入浴している。入浴が困難な利用者は足浴をしながらシャワー浴をしている。拒否の強い人には無理強いをせず、担当や日を変えタイミングを見て利用者の希望に沿えるよう柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具を清潔にし、気持ちよく休めるよう配慮している。季節に合わせて寝具を変え安眠出来るよう心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を確認し支援を行っている。薬変更時には、様子観察を行い情報共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ドライブ、散歩にお誘いし気分転換を図っている。ホームでのイベント、レクリエーションも工夫し楽しんでいただけるよう支援している。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	急な希望に添うことは難しいが、日程を調整し希望に添えるよう努力している。地域の催し物や、交流会に出かけている。	コロナ禍のため、車通りがほとんどなく安全な施設の周りを散歩している。天気の良い日には少人数で車中ドライブに出かけることもある。コロナ以前は食材の買い出しや近所に交流に出かけたり家族と一緒に外食や外出に出かけていた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金はホームで管理している。自己管理が出来る方がいないが、職員付き添いで買い物に行かれることはある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自分で電話のできる方は申し出により対応し、取次も行っている。手紙などが届いたときは、本人にお渡しし、読めない方は職員が代読している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝清掃を行い、清潔に努めている。明るさや湿度、温度、テレビの音量に気を配っている。季節ごとの飾りつけを行い、季節を感じていただけるよう配慮している。	居間は陽当たりが良く、スロープがあるので出ることもできる。居間や食堂の清掃は職員が利用者と一緒に定期的に行い、清潔に保たれている。廊下や居間の壁面には職員が工夫して季節感のあるものが飾っており、落ち着いた雰囲気の中、日中は居間でゆったりと過ごす方が多い。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者様同士、ソファに座りテレビをご覧になったり、自由に過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの物を持ってきていただいている。家具等の配置はご本人、ご家族の希望に沿うようにしているが、ご本人の状況によりアドバイスをさせていただいている。	居室のクローゼットの中に衣類やリハビリパンツ、パッドなどを収納している為、導線は片付いている。タンスが持ち込まれたり家族の写真や家族からプレゼントされたぬいぐるみが飾ってある。編み物を居室で行う利用者など本人が居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はすべてバリアフリーで手すりが設置されている。トイレやふる場は分かりやすく表示している。通路には物を置かず、動線を広く確保し、安全に生活できるよう配慮している。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271101145		
法人名	(株)日本ケアクオリティ		
事業所名	グループホームくすのき		
所在地	静岡県沼津市千本常盤町5-1		
自己評価作成日	令和3年10月25日	評価結果市町村受理日	令和4年1月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2271101145-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 静岡タイム・エージェント		
所在地	静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階		
訪問調査日	令和 3 年11月 29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中でご利用者が自分らしく、安心して生活できるような支援を心掛けています。生活リハビリを念頭に置き、できる事できない事を見極め、支援しています。車通りが少ないところの立地なので、散歩や外気浴を行い気分転換を図りながら、身体機能の低下に努めています。ホーム前の桜が満開になった時には、お花見を開催するのが毎年の楽しみになっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちは家庭的な雰囲気の中で笑顔を絶やさずともに笑い、皆で幸せを共有できる空間を創っていきます」の理念のもと、支援しています。またフロアに掲示し常に意識するように努めています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時に挨拶したり、町内の行事には出来る限り利用者様と参加しています。小学校の行事などには参加させていただいたり、小学生が訪問し交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	包括支援センターと協力し、認知症カフェを開催し地域の方を招き入れ、ホームの様子や認知症の理解に努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回利用者様とその家族、行政、町内の役員の方たちに近況報告を行い、情報を共有しご意見、ご感想、助言をいただきサービス向上に努めている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	グループホーム連絡協議会の時に活動報告を行っています。 各種提出書類がある時は必ず持参し協力関係が築けるよう努めています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が「身体拘束ゼロ宣言」を行っていることを周知し、事故対策委員会を中心に介護方法を話し合っています。 身体拘束の研修をホーム内で行っています。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内にて研修を行っている。職員の声掛けや入居者様の訴えなどに素早く対応できるよう職員同士連携を取り声を掛け合っている。 また、入居者様の身体チェックをし早期発見に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	常に意識をもち活用できるようにしているが、現在対象のかたが居ないため支援には至っていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には納得いただけるよう丁寧に説明を行い、不安や疑問点等に速やかに対応を行っている。また、入居後も不明な点等の問い合わせに速やかに対応を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等に参加していただき意見を伺っている。また、玄関先に意見箱を設置し直接本社へ届くようにしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議やユニット会議で提案や意見交換を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	評価シート等で自己採点ができやりに通じている。疑問点などは職員同士で話し合い快適な職場環境になるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修やホーム内研修で個々のスキルアップを行っている。資格取得の助成金制度が利用できる。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加し、ネットワークを形成して情報交換や交流を行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホームの見学の時、初回面接に伺った時に駒真理ごとや不安なこと、ご要望をお聞きしている。家に帰りたいと言われる方のお話も根気よくお聞きし関係を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人、ご家族の意見・要望を伺い、一緒に考えて関係を作っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な支援を見きわめて出来るだけお気持ちに添えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活を共にするという気持ちをもって一緒に食事を作ったり、掃除をしたり家事をしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日ごろの様子をお便りでお知らせしたり、来訪時にお伝えし情報の共有をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご自宅の近い方は散歩時に様子を見に行ったり、なじみのスーパーへ買い物に行きます。友人・知人の方が訪問しやすいよう配慮しています。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席替え、フロアの過ごし方など、職員カンファで意見を出し合い、穏やかな雰囲気が保たれるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご家族様が来訪されることもある。また、必要に応じ、相談援助を行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の意向を伺い検討している。意向をお伝えするのが困難な方は、ご家族の意向やご本人の表情など汲み、検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面接時の情報や、ご本人との会話の中で情報収集を行い、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、様子の変化していくため、現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意向、カンファレンスにて職員からの意見を収集し、現状に即したプランの作成をしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランの実践、記録をし情報共有をしている。申し送り等で気づきなど共有し見直しに活かしている。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟な支援ができるよう、家族との連絡を見るに行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域主催の行事に参加できるよう情報収集を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望を尊重している。かかりつけ医と密な関係を築けている。状態が変化した時など、ご家族様の意向を主治医へ報告しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の情報や変化に気づいたときは、看護師へ報告しアドバイスをいただいている。必要に応じ医師へ報告していただき受診の指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	退院時に医師、看護師の説明を受け、情報をいただいている。退院の調整など、病院側から連絡があった時などは、速やかに対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化について説明を行っている。また、家族に意向を伺い思いを尊重して支援を行っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訓練を定期的に行っている。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災委員を中心に、火災、地震、津波の訓練を年2回実施している。町内防災訓練にも参加し、災害時等にはご近所との協力体制も出来ている。ライフジャケットを用意しており、津波に対応できるようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様を尊重し個々に合った声掛けに配慮している。排泄、入浴、更衣介助時はプライバシーに配慮した支援を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に入居者様の意見を尊重し、ご自身で決めてい頂けるように努めている。コミュニケーションをとり、信頼関係を築いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の意見を尊重し対応できるよう職員同士、協力し希望に添えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの洋服等をお伺いしている。毎朝整容を行い清潔に努めている。2か月に1回移動理美容を利用している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何を召し上がりたいか、時々お伺いし希望に添えるよう努めている。下ごしらえや盛り付けなど手伝っていただいている。食器吹き矢お盆拭きなども行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合った食形態で提供している。水分量等常にチェックし少ない時など、本人の好みの物などを提供し摂取していただいている。塩分制限のある方などにも配慮している。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝、昼食後にはお茶でうがいを行っています。起床時、夕食後にはブラッシングを行い口腔内の清潔に努めています。また、残渣物の状況によってはその都度ブラッシングを行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居差様ごと、排泄パターンを把握しトイレにお連れしています。立位困難な方でも、トイレでの排泄を促すため職員二人介助にて座っていただいています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時に牛乳、朝食時にヨーグルトを提供するなど、自然排便を促す配慮をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は午前、午後にお誘いをしています。事前に声掛けをし、時間の確認を行っています。入浴剤を使用し、リラックスして入浴できるように配慮しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具を清潔にし、照明などに配慮し安眠できる環境を整えています。また、個々の状況に合わせて、日中でも休む時間を設けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬が処方になった時は、薬情報を確認し把握に努めています。追加のお薬が処方になった時などは、変化がないか様子観察を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や家事など、入居者様の状態などに合わせてお手伝いしていただいている。散歩などにお誘いし、気分転換を図っている。		

静岡県(グループホームくすのき)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	なるべく希望に添えるように努力して予定を立てている。ご家族様の希望時などは、アドバイスをさせていただき、外出を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金はホームでお預かりしています。ご本人の希望とご家族の想いで少額を入れた財布をお部屋におかれている方もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望すれば、いつでも電話できるよう対応している。また取次も行っている。お手紙や小包は本人へ渡している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとにフロアの飾りを変え、お花を飾ったり季節感を出している。照明やテレビの音にも気を使っている。毎朝一緒にホーム内の掃除をしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者様同士を近くの席にしたり、その時の関係性により座席に気を使っている。ソファで仲良くお話をする姿も見られる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にできるだけ馴染みの物をおもちゃいただき、居心地の良いお部屋になるようお願いしている。家具の配置はご希望に沿うようにしているが、アドバイスもさせていただいている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はすべてバリアフリーでてすりが設置されている。トイレやお風呂場はわかりやすく表示されている。通路にはなるべく物を置かず動線を広く確保している。		